

7月17日 株式会社 KANATTA 創業者 代表取締役社長 井口 恵氏

学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ

今回は主にライフスタイルの変化による、働き方の変化についてのお話がメインだったと思うのですが、私が経営者・起業家になりたいと考えているからという理由もあり、自分の人生について考えるために必要な、非常に良い知見・経験談を得ることができました。初めて事業内容について伺った際、「女性のための」ドローン事業・宇宙事業っていったいどういう点で女性が生きてくるのだろう、と思ったのですが、講義で説明を受けて、「こういう分野は女性が少ないのだな、」と理解できました。また、質疑応答の際には男性と比較すると容易ではない人生とキャリアの両立についてや、起業の際重要になってくる仲間集めについて大変興味深い意見を得ることができ、とても嬉しかったです。今回の講義を受けて、自分の夢である経営者に向けてさらに頑張りを加速させようと思いました。講義内で印象に残った内容はたくさんあるのですが、特に印象的だった内容が3つあります。

1つ目が、人生におけるメリハリづくり・計画立ての重要性についてです。質疑応答の時間で伺ったこともそうなのですが、自分の人生に対して「この年までに〇〇したい！」などを定めておくことは、それまでのやるべきことの逆算ができるので非常に有効な手法だと思いました。というのも、今現在私は講義内でもお話した通り、YNFPをはじめとして様々な活動を行っているのですが、その活動を通じて何をしたいのか、そしていつまでにどのような活動をしていきたいのかを明確に決めることはできていないからです。何となくは考えていた自分の将来設計をもっと具体化していき、理想の自分を叶えるために今何をすべきか決めていきたいと思います。質疑応答の回答の中にあった、自分が好きに働ける環境に身をおいてからキャリアを考えていた、というお話も非常に興味深かったです。講義中に実施した「どんなふうに働きたいかについて考える」ことで見つけた自分の理想の職場に身を置くだけでなく、職場を作り出せることも起業の大きなメリットだと考えているので、ますます起業に向けてのやる気がわきました。

2つ目に、人脈作りの重要性です。社長や経営者のお仕事の一つとして仕事を見つけてくること、すなわち人と交流を持つことがあると聞いて、目からうろこでした。自分は昔から人脈が重要だと聞いていたのですが、その理由は機会が舞い込むことだとばかり思いこんでいました。しかしその舞いこんだ機会は自分のためのチャンスだけでなく、将来は自分と一緒に働くメンバーのためでもあるのだとわかり、非常に面白かったです。今は人脈を広げるために積極的に他行の友人や社会人の方にお話を聞いているのですが、もっとたくさん自分の顔を覚えてもらえるよう、そして機会が舞い込むよう頑張っていきたいと思います。そして何よりも自分が大事にしてきたことを取り上げてもらえたことも自信に繋がりました。

最後に3つ目が、学生時代に何かに打ち込み挫折を経験した人は強い、ということです。このことは先ほどの言葉と同様に、すごく自信に繋がりました。私はかなり精力的に活動している方なのですが、周りの友人と比べて「私もみんなと同じように遊んだほうがいいのではないか」と思ってしまっていました。でもこの話を聞いて、自分がやっていることが間違っただけではないのだと思えて安心しました。これからは自分のキャリアと人生を大事に考えつつ、楽しく学生生活を送っていこうと思います。

講義中にお話しした通り、自分はコスメや化粧品が大好きで、学生のうちにこの分野で起業すると動き出しています。講義の際に聞いた仲間づくりや人脈についてのお話を踏まえた上で、今後も活かしていきたいと思っています。(経営学部1年)

公認会計士の資格取得のための勉強で肩を脱臼したというエピソードが印象に残りました。肩が凝って頭痛がひどいという話はよく耳にするのですが、勉強で肩を脱臼するというのは初めて聞きました。それだけ会計士のための勉強が大変だということがよくわかりました。ずっといい大学に入っていい企業に就職することが一番だと思っていたが、自分のかなえたい夢や生活を考えたとき、起業することが一番理想のライフプランに合っていると思い起業したとおっしゃっていて、その言葉が心に刺さりました。私も、この大学に入学するまではトップ大学に入学してエリートになって、大企業に就職してスムーズに出世するという生き方が一番だと思い込んでいました。しかし大学受験に失敗してプランが崩れたので、いま自分が社会人になってからどんな生活を送りたいか具体的に想像できませんでした。今はまだ自分の未来を想像することができなくて、やるべきだと思っていることも本当にやるべきなのか、やりたいと思っていることも本当にやりたいのかわからなくて、道に迷っています。達成したい目標がないと、寄り道をしてしまう性格なので早く自分のやりたいことを見つけないかと思っています。充実した人生を送っている女性起業家のお話を聞くと、自分には情熱も熱中していることも何もないのに不思議と希望が見えてきて、自分の人生も同じように充実させたいと思えるので、今日の講演は「選手」として聞くことができたと思います。自分の社会人になってからの理想の生活を思い浮かべることができれば、おのずと自分のやりたい仕事も見つけられるのではないかと思います。そのためにもたくさんの大人と知り合って自分の知らない世界を見てみたいです。(経営学部1年)

先日、貴社代表取締役社長の井口恵様の講演を拝聴し、心より感謝申し上げます。社会人としてのキャリア形成、起業家としての挑戦、そして貴社が展開されている革新的な事業について、大変貴重なお話を伺うことができました。特に、ご自身の経験に基づいた率直なメッセージは、今後の私のキャリアを考える上で大きな示唆となりました。

井口様のお話で特に印象的だったのは、「何がしたいかよりも、どうなりたいかを重視すべき」というキャリア形成に関するアドバイスです。これは、漠然とした目標ではなく、具体的な理想像を描くことの重要性を教えてくださいました。また、ご自身の20代でのハードワークから転職、そして起業に至るまでの経緯は、年収1,000万円を超えても「ハードワークを続けられない」と判断し、起業準備のために環境を変えるという、強い意思と行動力に感銘を受けました。貴社が展開されている「コスモ女子」や「ドロンジョプラス」といった事業は、女性の活躍支援や社会課題の解決に繋がるものであり、その先見性と社会貢献性に深く感銘を受けました。特に、「日本初、未経験の女性だけで、人工衛星の打ち上げに成功した」という実績は、井口様のリーダーシップと、女性が持つ可能性を最大限に引き出す貴社の企業文化の象徴だと感じました。

また、講演の中で触れられた「社長の仕事は、仕事をするのではなく、仕事を作ること」といった具体的なビジネス観は、将来の社長業務における心構えとして大変参考になりました。

井口様の講演を拝聴し、私自身の現状と将来について深く考える機会を得ました。自分が「お金はそんなに欲しくない」などと周りに自分をカッコよく見せようと、自分すら欺いていると自身について本質的に立ち返ること出来ました。そのうえで、自分の強みは人とは違った価値観を持っていることだと気づきました。さらに、思考を深めるうえで、考えを他の人と合わせて同質化する、いわゆる「丸くなる」ことは年をとったらいくらでもできるため、若い今の内は、ある程度の協調性は必要ですが、完全に周りに合わせるのではなく自分ならではの「とがり」も大事にしていくべきだと感じました。

今後は、井口様のおっしゃった「理想の人物像・ロールモデルを決める」ことから始め、具体的なキャリアプランを構築していきたいと考えています。また、学生時代に培える人脈の重要性や、30歳までに目標を達成するというタイムリミット設定など、実践的なアドバイスを活かしていきたいと思います。

この度の講演は、私のキャリアに対する視野を広げ、新たな挑戦への意欲を掻き立てる貴重な機会となりました。井口様の力強いメッセージと、貴社の革新的な取り組みに触れることができ、心より感謝申し上げます。(経営学部1年)